

---

# 英文を書くための手引書

---

中川 浪子 著



KAIBUNSHA  
PUBLICATIONS

# 英文を書くための手引書

中川 浪子 著



KAIBUNSHA LTD

TOKYO

英文を書くための手引書

[検印廃止]

---

1997年2月1日 初版発行

著者	中川浪子
発行者	安居洋一
印刷所	平河工業社
製本所	三森製本所

---

〒160 東京都新宿区坂町26番地

発行所 開文社出版株式会社

電話(03)3358-6288番・振替 00160-0-52864

---

ISBN4-87571-539-0 C1382

## 序文

### Preface

人が感情や情報を伝える手段は言葉である。だから、人は容易に発声できる音を組合せて単語を作り、それを連ねて会話をし、さらにそれを記録するのに文字を発明したことは、考古学の研究から、今や明らかにされている。この様な発展の中で、単語を一定の規約の下で組み合わせる文法が生まれ、単語を集めた単文が作られたと思える。

作文は一口で言えば単文を繋いだ、或る一定の目的を持つ文章を作り上げて行く技術である。従つて、当然目的や個人の好みによって、単文や文章に使う表現法が異なってくる。何れにしても、的確な文章を書くのは、日本語でも難しい、まして、考え方や表現の仕方が違う外国語で文章を書くのは、一層難しい課題である。しかし、基本的な英作文の技術を習得すれば、他人に自分の言いたいことを伝えることが出来る、つまり読んで分かってもらえる英語の文章を書けるようになる。

このテキストでは、計12章のレッスンを通して、用意された沢山の实例から、英語で書く文の「流れ」を学び、英文の書き方、組立て方はこうすればマスターできるという練習に重点をおいてある。各章の内容は、実際の講義で、更に内容を拡大し、実用的な広い範囲の演習や習作にも利用できるようにしてある。尚、英文の違った種類の文や句の实例を、参考までに付録とした。

1996年 8月

中川浪子

## 目 次      Content

<b>序文</b>	<b>Preface</b>	i
<b>第1章</b>	<b>英作文の準備      Preparation for English Composition</b>	
1.	書く為の準備	1
1. 1	ブレインストーミング	1
1. 2	フリー・ライティング	2
1. 3	リスト作成	2
1. 4	疑問形式	2
1. 5	作函法	2
1. 6	練習問題	4
<b>第2章</b>	<b>文節      Paragraph</b>	
2. 1	文節の作成	7
2. 2	1文節の実例	8
2. 3	2文節の実例	8
2. 4	3文節以上の作文	9
2. 5	練習問題	10
<b>第3章</b>	<b>作文の基本的構成      Basic Organization of Composition</b>	
3. 1	基本的構成	12
3. 2	序文、本文、結論	12
3. 3	序文と結論の例	13
3. 4	練習問題	15
<b>第4章</b>	<b>色々な記述形式      Various Forms of Writing</b>	
4. 1	主観的記述法	19
4. 2	客観的記述法	19
4. 3	観察的記述	19
4. 4	練習問題	22

<b>第5章</b>	<b>エッセイ、自叙伝、日記</b>	<b>Essay, Autobiography and Diary</b>	
5. 1	エッセイ		25
5. 2	自叙伝		26
5. 3	日記		26
5. 4	練習問題		28
<b>第6章</b>	<b>客観的な文の例</b>	<b>Examples of Objective Writing</b>	
6. 1	手引書		31
6. 2	手引書の実例		31
6. 3	観光案内のパンフレットの例		32
6. 4	客観的な観測報告書		32
6. 5	練習問題		34
<b>第7章</b>	<b>色々な手紙の書き方 1</b>	<b>Various Types of Letter Writing 1</b>	
7. 1	三種類の文体		37
7. 2	公式の手紙の例		37
7. 3	練習問題		39
<b>第8章</b>	<b>色々な手紙の書き方 2</b>	<b>Various Types of Letter Writing 2</b>	
8. 1	就職問い合わせの手紙		44
8. 2	略歴（レジюме）の例		44
8. 3	個人的、非公式の手紙の例		45
8. 4	練習問題		47
<b>第9章</b>	<b>具体例</b>	<b>Concrete Examples</b>	
9. 1	疑問形式・フリー・ライティングの例		51
9. 2	独白と対話（会話）の作文例		52
9. 3	大要の例		52
9. 4	練習問題		54
<b>第10章</b>	<b>文学の研究論文</b>	<b>Research Paper in Literature</b>	
10. 1	論文の目的と主題		56
10. 2	論文の形式		56
10. 3	文学の研究論文（抜粋）		57

10. 4	練習問題	60
<b>第11章</b>	<b>社会科学の研究論文      Research Paper in the Social Sciences</b>	
11. 1	社会科学の研究論文の作成	62
11. 2	社会科学の研究論文 (抜粋)	63
11. 3	練習問題	66
<b>第12章</b>	<b>自然科学の研究論文      Research Paper in the Natural Sciences</b>	
12. 1	自然科学の論文の作成	69
12. 2	自然科学の研究論文 (実験論文の抜粋)	69
12. 3	練習問題	74
<b>付録・文と句の実例</b>		
A. 1	文の種類	76
A. 2	句	78

## Chapter 1

# Preparation for English Composition

## 英作文の準備

作文は、情報や感情を表現したり、叙述する手段だから、互に情報や意見が達するよう  
な、文法的に誤りのない文章を作らなければならない。またあまり長い文章を書くよりも、  
正確に互いの情報や意見の交換が成り立つ短い文章を、使い方や意味が正確に知られてい  
る単語を使って書くことが重要である。

### 1. 書くための準備

スポーツを始める前の準備運動のように、英文を書き出す前に、考えの自由な表現の準  
備として、まず色々と想像力を広げることから始める。白紙を用意し、何でも思いつくこ  
とや知っている英単語を並べて見る。この場合、あらかじめ題（テーマ）を自分で決めて  
始めてもよいが、単に身近な思い浮ぶ英単語を書いてもよい。

形式的に、このような準備は次の5つに分けられる。

#### 1. 1 ブレインストーミング

これは思いつくままに、英単語を並べる方法で、頭に浮かんだ考えの単語で並べる。こ  
の形式は、アメリカのビジネス会議等で、何人かが集まって、ある議題について思いつく  
ままに考えを出し合い、問題を解決するブレインストーミング (brainstorming) と言わ  
れる方法である。

例：“Life” . 人生

Short, long, hard, easy, sufferings, hardships, education, examinations, tests,  
graduation, future, joy, marriage, friends, family, aunt, uncle, present, trou-  
bles, problems, misery, happiness, old age, youth, childhood, business, career,  
human society, pets, animals.....



短い、長い、難しい、易しい、苦痛、困難、教育、試験、テスト、卒業、未来、喜び、結婚、友達、家族、伯母、伯父、現在、心配、問題、不幸、幸福、老齢、若さ、幼年期、仕事、生涯、人間社会、ペット、動物……

このように、題目を見て頭に浮かぶ単語を並べると、後で述べる作文の基本的構成（第3章）での比較の方法等が容易に作成できる。

## 1. 2 フリー・ライティング

この方法は、単語を繋いで、文を作る練習である。思いつくままに幾つかの文を書くこの方法は、フリー・ライティング (free writing) と呼ばれる。なんでも考えついた事をそのまま自由に書くから、順序もしめくくりもない構成となる。題も考える必要もないが、後からなにか特定の題を考えまとめてもよい。

## 1. 3 リスト作成

与えられた題目に関連した単語を箇条書きにする (formation of a list) と、そのリストから考えが整理され、後に述べるエッセイ構成の比較法や分類法に利用できる。この場合、初めに関連した題目を二つの表に分けて、それぞれについて単語を並べてゆく方法もある。

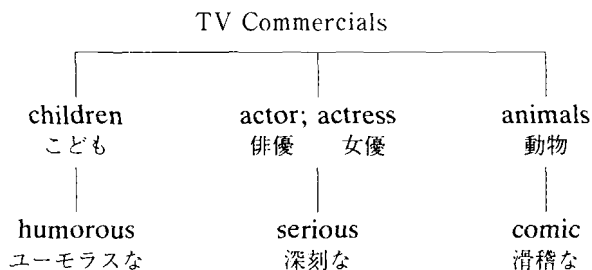
## 1. 4 疑問形式

これは、与えられた題目を疑問形式で書いて、その答えを捜す方法である。この時単に肯定文を質問形に変えるだけでもよいが、英文法の疑問形 (interrogative form) をしっかり把握していないと意外に難しい。

## 1. 5 作図法

以上の外に、図表を作って (drawing a diagram)、抽象的な概念を分析したり、関係づけたりする方法がある。これは文章の解釈や批評にも適合できる方法で、色々な要素間の関連を明らかにする点で役に立つ。

例：“TV Commercials” テレビのコマーシャル



この図形は、木のように枝葉を出すので、ツリーイング (treeing) ともいわれる。この他、幾つかの単語をまとめて円形に入れ、色々ところらを組み合わせたクラスタリング (clustering) 集団的図形と呼ばれるものもある。

以上の例を挙げて説明した5つの方法は、日本語で考える習慣のついた頭を、まず英語の世界に適応させるために、英作文を書く前に勧めたい準備手段である。

## 1. 6 練習問題

- 1) 身近かなものについて、ブレインストーミングをしてみよう。

例：帰国子女の問題、今持っている鞆の中身（ノート、教科書、鉛筆、定期、財布、定期券、ティッシュ）、或いは、入学試験、将来の就職等。

Problems of Returnee

uniform, rules, culture, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

\_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_,

- 2) 次の題目でフリー・ライティングを試みましょう。

例：雨の日、梅雨、夕立、雪等。

文の空白部でフリー・ライティングを試み、“Rainy Days”「雨の日」の下線部を英語にしましょう。

私もその一人だが、確かに雨の日を好きな人はあまりいないと思う。まず、突然何を着ていいのかわからなくなる。もしスカートをはくと、脚に黒い点が付く結果となってしまふ。私は靴がずぶぬれになるのは嫌だ。

I'm sure ( ) and I am one of them. First, I suddenly don't know what to wear. If I wear a skirt, then I always end up having black dots on my legs. I hate it when ( ).

私は、例えば部屋の掃除以外に何も特にする事がなくて家にいる時だけ、雨降りが好きだ。外の雨を聞き、雨の降るのを見ながら、本を読んだり、古いアルバムの写真を眺めるのは、また楽しい。

I like the rain only when I am home and there is nothing particular to do except, say, cleaning up a room. ( ) or looking over old picture albums is also pleasant while listening to and ( ) outside.

- 3) 好きなものと嫌いなもののリストを作ってみよう。

例：(学科目) マーケティング、会計学、社会学等。

例：(スポーツ) 体操、バレエ、剣術、水上スキー、サッカー等。

例：(本) 怪奇小説、お伽話、詩等。

参考までに分類の例として“Vegetables”を挙げよう。

Green vegetables	White vegetables
spinach	leek
lettuce	cauliflower
green pepper	mushroom
cucumber	potato
green peas	asparagus
beans	onion
broccoli	turnip

#### 緑色野菜

ホウレン草  
レタス  
ピーマン  
キュウリ  
エンドウマメ  
豆（インゲンマメ）  
ブロッコリ

#### 白色野菜

西洋ニラネギ  
カリフラワー  
マッシュルーム  
ジャガイモ  
アスパラガス  
玉葱  
蕪

4) 次の題で、疑問形の文を書いてみましょう。

例：幸福とは？ 精神的な病とは？

What is happiness? What is mental illness?

下線部を英文にしましょう。

幸福とは？

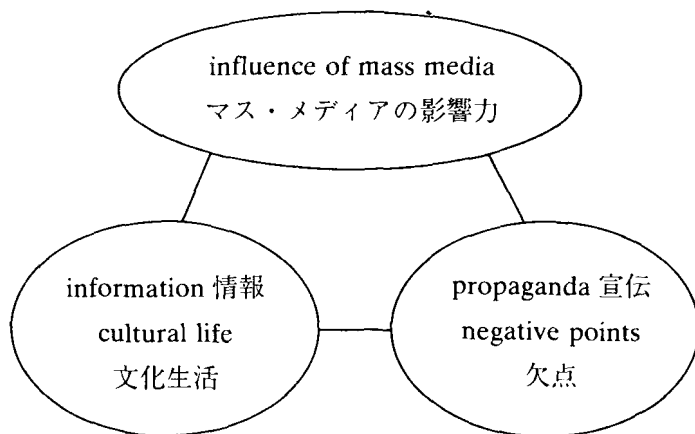
今すぐ行きたい処は海。 実際には何処の海でもいい。 何故浜辺に行く必要があるのか？ 海辺に行けば私の探し求めている平和と静寂を見つけられると思う： 波の音、塩気を含んだ微風、青空と遠い水平線、自由と平和の感じ……

What is happiness?

The sea, that's where I feel ( ). ( ) it could be any sea. Why do I need to go to the beach? If I go to the seashore, I think I will be able to find the ( ) I am looking for: ( ), the salty breeze, the blue sky and the ( ), the feeling of ( ) of mind.....

5) 単語や句を円形に入れ、線で繋いで関連性を見せるクラスタリングの図表 (1. 5) を作ってみよう。

例：



祖父母 (grandparents) について、下の単語を使ってクラスタリングを考えてみよう。

hard working	flower beds	vegetable plot
働き者の	花畑	野菜畑
economy-minded	countryside	fruit trees
経済的な	田舎	果樹
small bungalow	sunshine	clean air
小さな平屋	太陽の光	綺麗な空気
live on pension	classic style furniture	
年金暮らし	クラシックな家具	
old trophies	scrolls	homemade wine
古い記念品	掛け軸	自家製の葡萄酒
faded photographs	memories	
色あせた写真	追憶	

## Chapter 2

# Paragraph

### 文節

#### 2. 1 文節の作成

文節とは、一つのまとまった思想や内容を、次の文と区切りをつけてまとめたものである。この章で、この様な内容を的確に伝える主題を考えてみよう。個々の文節では、次のことが要求される。

##### 1. 一つの論題だけを扱うこと。

例：The advance of communication prompts globalization.

通信の進歩は国際化を促す。

##### 2. 思想的にまとまっていること。

例：Childhood memories affect one's life.

幼児の時の記憶は一生に影響を与える。

##### 3. 論理的に矛盾がないこと。

例：Motorization enhances air pollution.

動力化は大気汚染を増大する。

文節の長さに規定はないが、通常90から150—200の単語から成り立っている。同じ位の長さの文節からなる文は読みやすい。文節には、主題（topic sentence）があり、その主題に対する作者の思想が述べられる。このような主文節（main body）を書く練習を始めよう。

主題を書くのには、次のことが重要である。

##### 1. 文節の思想を表すまとまった文であること。

##### 2. 質問形ではないこと。

##### 3. 主題が文節の始めか終わりで明確であること。

一般の作文では、主文節のあとに通常その主題内容の拡大や説明が続く。全体としては、主文節（key idea）、内容の説明（explanation）、定義（definition）或いは具体例（example）等となる。

一言でいえば作文は、文章を繋げる技術だから、その表現形式・文体（style）等は、後

に述べるように（第4章以後）沢山ある。また、文体も、文法、単語、句、構成等によって違って来る。長い作文では、特に同じような構文や単語の重複を避けなければならない。この章では、第一目標として、色々な題材についての短い作文を考えよう。

## 2. 2 1 文節の実例

Animation (88語)

The word “Animation” implies to enliven or inspire, namely to activate something into action. This word has now gained popularity due to the widespread use of animated characters in television games children play as well as in television commercials. However, this popularity might stem from the biological nature of our vision. Our vision is particularly keen to movements rather than stationary objects, as the necessity of survival during the long evolutionary consequences. This may also explain the popularity of “Manga” among young people in comparison with books.

語「アニメーション」は、活気づけるとか励ます、すなわち、何かを活動的にすることを意味する。この言葉は、子供たちが遊ぶテレビ・ゲームやテレビのコマーシャル内で活動するアニメの人や物のおかげで、今や一般的になつている。しかし、この人気は、私達の視覚の生物的資質に根ざしているのかも知れない。私達の視覚は長い進化の過程で生き残る必要から、静止しているものより、動きに対して特に敏感である。これは、また若い人達の間で、本に較べて「漫画」が流行しているのを説明するかも知れない。

## 2. 3 2 文節の実例

次にやや長い主題の説明の例として、ウォルター・ペイターの文芸復興「ルネッサンス」を示そう。これは、86語と90語の2文節からなる。

(From “Walter Pater’s Renaissance”)

The word “Renaissance” implies a return to the sources, a rebirth of the study of the Greek and Latin classics, and also the end of the Middle Ages. The Renaissance started as a consequence of the Crusades, through the encounter with different cultures in the East and the spread of commerce from Venice to Tuscany, France and England. The Crusades to the Holy Land began in the eleventh century and lasted till the thirteenth century. During this time communication with Greece and the Near East increased.

ルネッサンスという言葉は、源に戻る、ギリシャ・ラテンの古典学習の再生、また中世期の終焉を意味する。ルネッサンスは、十字軍の東征の結果として、東方異文化との接触と、ヴェニスからトスカニー、フランス、イギリスへの商業の拡大を通じて始まった。聖地への十字軍は、11世紀に始まり、13世紀迄続いた。この間ギリシャや近東との交流が盛んになった。

The Arabs were inheritors of the Greek scientific thought. Copies of Aristotle's works were discovered, and studies of Euclid's geometry were revived. Greek literature and culture underline Latin culture which is of major importance in the Renaissance. With the increase of wealth due to commerce and the decline of the feudal system of the Middle Ages, the idea of returning to the old Hellenistic culture gradually emerged. A confidence in the excellence of Man (Nature) gained strength over the authority of the religious discipline which had governed the Middle Ages.

アラブ人は、ギリシャの科学的思考の伝承者だった。アリストテレスの業績の写しが発見され、ユークリッド幾何学の研究が再興された。ギリシャ文学とラテン文化の下地だった文化が、ルネッサンスでは主要である。商業による富の増加と、中世期の封建制度の衰退に伴って、古代ヘレニズム文化に戻ろうとする考えが、次第に出現した。人間（自然）の卓越性に対する自信が、中世を支配して来た宗教的規約の権威に対して力を得た。

## 2. 4 3文節以上の作文

3文節の作文では、250—350語となり、文の始めに、序論とか前置きを書き、それを拡張する文を続け、最後に主題と拡張した文との関連をまとめる文で締めくくる。

5文節の作文では、500—700語の文となる。そこでこの程度の長さの作文では中心となる論題 (thesis) を基に、序文、3つの主文節 (topic sentence)、そして最後に結論の文節が必要となる。



## 2. 5 練習問題

- 1) 1文節の例文は、5つの文 (sentence) から成っているが、この例文の要旨を、下のような一つの文で現わしてみよう。

今はやりのテレビ・ゲームやコマーシャルで見られるアニメーションは、私たちの生物学的な視覚から来ているかもしれない。

ヒント：今はやりの (popular)、生物学的 (biological)、視覚 (vision)。

- 2) 次の文中のどれか2つの単語を使って、文を書いてみよう。

New aesthetic conceptions imported from Italy, and the patronage of the arts by the royalty helped spread the development of art. The French Renaissance was characterized by the superiority of the ancients and humanism. It had a more realistic character compared to the Italian Renaissance which was rather formal.

イタリアから輸入された新しい美意識や王室による芸術の庇護は、芸術の発展を拡大するのを助けた。フランス・ルネッサンスは、古典学と人道主義の優越性によって特徴づけられる。それはやや形式的だったイタリア・ルネッサンスに較べ、一層現実的な性格を持った。

ルネッサンス (Renaissance) と芸術 (Art) の2つの単語を使って、英文を書いてみましょう。

文芸復興は、ギリシャとローマの原典を研究した人文学者とイタリアの芸術の観賞から始まった。

ヒント：原典 (classics)、研究した (studied)、観賞 (appreciation)、始まった (started from)。

- 3) 次の例文を読んで、要旨を述べてみよう。

Hardy does not merely record the moods of nature but makes it a medium through which he expresses his own philosophy. The age in which he lived was a restless period different from the past eras because the Industrial Revolution was destroying old agricultural England. Men like Charles Darwin, Thomas Huxley, John Tyndall and Herbert Spencer tried to build scientific knowledge into a philosophical structure. The hypothesis made men to regard the origin and value of the human species from a new point of view.

ハーディは、単に自然の雰囲気記録だけでなく、自然を自分の哲学の表現の媒介とした。彼の生きた年代は、過去の時代と異なって、産業革命が古い農村的な英国を破壊して行った落ち着いた時代であった。チャールズ・ダーウィン、トーマス・ハックスリー、ジョン・タインダル、ハーバート・スペンサーのような人たちは、科学的知識を哲学的構造に組み替えようと試みた。その仮説